

今の介護、これからの介護の課題や
問題点などなど…その道の業界人にインタビュー!

連載

カイゴの未来を考える

今回のテーマ
『超高齢化社会における介護』

取材場所:株式会社アスパル本社



株式会社アスパル
事業本部/部長
後藤 大祐(ごとうだいすけ)氏
介護福祉士/介護支援専門員

1974年生まれ(38歳)。介護保険施行前から、介護職で現場を経験。株式会社コムスンに入社後、南九州・沖縄エリアの責任者、都市部・過疎地・離島等において、訪問介護事業の展開に携わる。長年の業界経験と内容分析力から、セミナー講師としての実績も多数持つ介護業界屈指の有識者。現在は2012年8月に設立した在宅介護専門の株式会社アスパルに勤務。『在宅介護日本一のアスパル!笑顔で明るい従業員とともに明日をつくろう!』をモットーに掲げ、奮闘中。



インタビューー

桜木もえ

看護師/ライター/作家
著書「ばたばたナース(講談社)」、「毎日がナース日和(大和書房)」、「子育てナースなんだもん(リヨン社)」など、地域誌や看護雑誌のライターでもある。

ライター桜木もえが
お聞きします!



日本は「超高齢化社会」を迎えています。超高齢化社会というのは、具体的にどういう社会なのでしょう? WHO(世界保健機構)国連では、65歳以上人口の割合が21%超で「超高齢社会」とされています。つまり今、日本において5人に1人以上が65歳以上ということになりますよね。これからますます介護を受ける高齢者は増えると考えられていますから、介護はもっと身近な存在になるでしょう。介護のプロは、「超高齢化社会」の課題や問題について、どのように考えているのでしょうか? イザインタビュー!!

超高齢化社会において
「高齢者の暮らしと介護を
どのようにイメージされて
いますか?」

漠然とした健康やその人らしさではなく、その人にとっての健康やその人らしさを知って考えて、「これをやりたい」「こうしたい」という思いをサポートすること。それが高齢者の暮らしと介護だと思っています。一人ひとりの健康とその人らしさをきちんと知って、その人らしい暮らし

らしをサポートしていくためには、一般的に抱かれている「健康とその人らしさ」という理想像を、そのまま当てはめてしまうのは、違うと思います。

例えば、歳をとって病気を抱えながらの「健康とその人らしさ」というのもあるでしょう? 高齢者の暮らしにおいて、その人にとっての大切な思いや願いを叶えるためのサポートは、理想像ではなく、その人像を具体的にイメージしなければならぬと思います。

医療と介護の連携を
どのように考えていますか?

歳をとるとどういふことは、個人差はあるが、健康状態と生活機能が少しずつ低下していき、生活する人口が多いというところになりますね。住み慣れた場所での暮らしをサポートしていくには、医療と介護の連携は重要ですね。当然、住み慣れた場所で亡くなる人が今から増えますよ。だから、24時間対応できる医療

との連携は必須でしょう。

これからは、もっと介護と、在宅支援診療所や訪問看護ステーションとの連携を強くするなどといった、多職種協働による在宅支援の体制づくりが課題になってくると思います。

例えば、料理を作れる人が、食事を提供されることで、料理を作れなくなってしまうように、本来、高齢者の暮らしにおいて「困らないようにサポートする介護」が、高齢者の残存能力を削いでしまうことになりませんか?

その人らしい暮らしを維持するために、「高齢者お一人お一人の力に合わせサポートすること」「元気な方はその状態を保ち続けることができる」とそれぞれが大切です。例えば、「聖路加病院」理事長・新老人の会会長の日野原重明先生がシニア世代の新しい生き方を提唱しておられます。日本のシニアが健やかで充実した生涯を送ること、この年代でなければ出来ない社会貢献をし、生きがいを感じる生活を送

ることができると。介護業界はこのような活動を積極的に支援していくことが大切でしょう。

超高齢化社会において介護は
とても需要がありますが、介護事業者を選ぶとき、どういった点に留意すればよろしいでしょうか?

利用者に良い介護サービスを提供するには、介護従事者も充実していることが大切ですね。つまり、「介護従事者がイキイキと仕事をしている会社を選ぶこと」。介護についてよく学んで、実践し、「ご利用者のニーズに合った介護を提供し続ける事業者でなければならぬ。また、現在の介護従事者は約50に1人(1.7%)、2025年には、約25人に1人(4.4%)になると言われています。だからこそ、「介護従事者からも選ばれる魅力ある事業者」でなければならぬと思います。そのような魅力を持った介護事業者を選ぶとよいでしょうね。

なるほど! 本日は
ありがとうございました!



取材協力
株式会社 アスパル

〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目11番7号 Sビル2 6F-2号室
TEL 092-724-5235 FAX 092-724-5236

在宅介護 訪問介護サービス/居宅介護支援サービス
障がい福祉サービス/介護保険外サービス
<http://www.aspal.jp> 株式会社アスパル